

2026 年 2 月 10 日  
株式会社日本政策金融公庫  
総合研究所

# 起業家の 3 割以上、パートタイム起業家※の半数以上が費用をかけずに起業

～「2025 年度起業と起業意識に関する調査」アンケート結果の概要～

本調査では、起業した人を働く時間に応じて分析したほか、まだ起業していない人にも焦点を当てました。また、自ら事業を始めているにもかかわらず、事業経営者との認識をもたない人も、起業家と位置づけて調査しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

※本調査では、現在経営している事業に充てている時間が 1 週間当たり 35 時間未満である人を「パートタイム起業家」、同 35 時間以上である人を「起業家」と定義している。

## < 主な調査結果 >

### 1 費用をかけずに起業した割合は起業家が 3 割以上、パートタイム起業家が半数以上（本文 11 ページ）

起業費用をみると、起業家では「費用はかからなかった」と回答した割合が 32.2%と最も高く、「50 万円未満」も 29.4%に上る（図－20）。パートタイム起業家では「費用はかからなかった」と回答した割合が 53.2%と半数を超え、「50 万円未満」も 36.8%を占める。

### 2 起業家、パートタイム起業家の 7 割以上が、現在の採算状況を「黒字基調」と回答（本文 14 ページ）

現在の月商が「50 万円未満」の割合は、パートタイム起業家で 91.5%と大半を占め、起業家でも 68.3%と高い（図－29）。現在の採算状況が「黒字基調」である割合は、起業家（72.6%）、パートタイム起業家（74.8%）ともに「赤字基調」の割合（順に 27.4%、25.2%）を大きく上回る（図－31）。

### 3 起業関心層の半数以上が「起業したい」と回答（本文 18、20 ページ）

起業関心層に起業の予定の有無を尋ねると、「10 年以内に起業する」（17.8%）と「いずれは起業したいが、時期は未定」（39.5%）を合わせた「起業したい」が 57.3%となった（図－39（1））。起業関心層がまだ起業していない理由は、「自己資金が不足している」と回答した割合が 48.4%と最も高く、「失敗したときのリスクが大きい」（29.1%）、「ビジネスのアイデアが思いつかない」（29.0%）と続く（図－41）。

\* 本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

## < 調査の要領 >

・調査時点：2025 年 11 月

・調査方法：インターネットによるアンケート

・調査対象：全国の 18 歳から 69 歳までの人

・回収数：3 万 8,017 人

## < お問い合わせ先 >

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687（担当：原澤、星田）

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー